

シグマ研究委員会
核データ専門部会全体会合議事録

日 時 昭和61年 2月13日（木） 13:30~17:30
場 所 原研本部 第3会議室
出席者 村田、飯島、川合、山室、吉田（N A I G）、瑞慶覧、真木（日立）、
神田、大沢（九大）、松延、奥田（住友原工）、八谷（三井造船）、
小林（京大炉）、播磨（東工大）、渡辺（川重）、今西（F I P）、
前川、杉、五十嵐、中川、浅見（原研）

配布資料

1. J E N D L - 3 作成について
2. J E N D L - 3 データ評価者および連絡者一覧表

議 事

1. 一般報告

五十嵐氏から運営委員会での最近の討議事項を中心にして、J E N D L - 3 以後の計画検討小委員会、1988年核データ国際会議準備委員会、核データ研究会の準備、特殊目的データファイル検討小委員会、学会特別会合等の状況について報告があった。また、来年度の核データセンターの予算関係、B N L のS. Pearlstein氏より核データについての日米の協力申し入れのあったこと等の紹介があった。

2. 原子力学会年会

村田氏より3月末の原子力学会年会の日程、特別会合の期日等についてアナウンスがあった。

3. WG活動報告

次の各WGおよびサブWGから活動の現状について報告があった。

- (1) 重核データサブワーキング・グループ（中川）
- (2) 中・重核データサブワーキング・グループ（松延）
- (3) ガス生成核データサブワーキング・グループ（飯島）
- (4) 実験法評価サブワーキング・グループ（村田）
- (5) FP核データワーキング・グループ（川合）
- (6) 核融合核データワーキング・グループ（神田）
- (7) ガンマ線生成データワーキング・グループ（播磨）
- (8) JENDL編集グループ（浅見）

なお、この中で JENDL-2 の遮蔽ベンチマークテストの解析におけるナトリウム断面積の問題は以前に指摘されたようなことはないことがわかったとの報告があった。また、実験法評価サブWGは今年度で解散することが了承された。

4. JENDL-3 評価作業

五十嵐氏から資料1により JENDL-3 の今後の評価作業に関連して大略次のような説明があった。

- JENDL作成のようなプロジェクト作業は委員会作業になじまない面が多くなっている。
- JENDLの利益保護のため管理者を明確にすることが必要となってきた。
- このために JENDL の作業は委員会作業から切り離して外注や研究委託で行うようにしたい。
- 今後、WG会合ではこれら作業の相互連絡、評価方法の討議を中心にして、本来の委員会の形で進めたい。
- JENDL-3以後のことについては今、進めている JENDL-3 以後の計画検討小委員会の答申を待って決めたい。

これに関連して、JEFの取り扱い、著作権の問題、JENDL-3 のスケジュール等について討議があったが、上記の主旨については了承された。また、JENDL-3 の評価作業のうち直接過程の評価の進め方を検討するため関係者の間で Task Force を組んでコードの検討を行うことにし、世話役には松延氏（住友原工）と中川氏（原研）が当ることになった。